

理論説と直接的社会知覚の両立可能性について

藤原 諒祐 (Ryosuke Fujiwara)

東京大学・日本学術振興会

われわれはいかにして他者の行動を理解しているのだろうか。標準的な説明は、行動に伴う心的状態の推測（読心）によって行動は理解されるというものだ。標準的説明を支持する立場の1つに理論説とよばれる立場がある。理論説は、他者理解を可能にする読心を理論的知識にもとづく推論として捉える。すなわち、理論説によれば、心と行動についての一般的知識の集合（素朴心理学）にもとづき他者の心的状態を推論することで、他者の行動は理解されるのである。

しかし、読心による他者理解の捉え方に対しては、直接的社会知覚の可能性にもとづく批判が提示されている（Gallagher, 2008 等）。こうした批判では、情動や意図といった一部の心的状態は他者の行動や表情に表れているものとして直接に知覚可能であると論じられる。それゆえ、そうした心的状態については、行動や表情から何らかのかたちで（例えば理論的推論によって）推測する必要はないというのである。理論説は読心によって他者理解を捉える立場の1つであるため、直接的社会知覚の可能性は理論説にとって大きな問題であるように思われる。

本発表では、理論説と直接的社会知覚についての議論を整理し、両者の両立可能性を擁護することを目的とする。特に、理論説に否定的な論者が提示する直接的社会知覚の描像が理論説の描像を排除しないと論じる。ただし、本発表は他者理解のあり方についての決定的な説明を与えるようなものではない。他者理解についての議論は、最終的には経験的検証によって決着をつけるべきものである。本発表の議論は経験的知見とはある程度独立に行われるものであるが、理論説や直接的社会知覚の議論において重要となる経験的知見がどのようなものかについて一定の示唆を与えうるだろう。

発表では理論説の基本的な特徴と直接的社会知覚にもとづく批判を簡潔に提示したのちに、理論説と両立するかたちで直接的社会知覚を捉える議論について紹介する。こうした議論は J. S. ラヴェルや P. カラザーズによって提示されている（Carruthers, 2015; Lavelle, 2012）。ラヴェルやカラザーズは、直接的社会知覚を理論負荷的な観察として捉える。すなわち、心的状態は意識的な推論を介することなく観察できるが、その観察は意識にのぼらない暗黙的な推論によって支えられていると主張する。従って、心的状態の直接知覚可能性と理論的推論の必要性を整合的に考えることができるのである。

続いて、こうした議論に対して理論説に否定的な論者である S. ギャラガーが提示する批判（Gallagher, 2015; 2017; 2020）の要点をまとめる。ギャラガーは、直接的社会知覚を支える心理学的メカニズムは理論的推論を必要とするプロセスとしては捉えられないと論じる。むしろ、直接的社会知覚を支える暗黙のプロセスは、神経ネットワー

クの可塑的な変化を通して上手く調整された知覚システムにおける並列分散処理として特徴づけられるのだ。

ギャラガーによる批判に対して本発表は理論説の立場から応答することを試みる。直接的な社会知覚を支えるメカニズムについてのギャラガーの描写は必ずしも理論説的な解釈を排除するものではない。理論説は心の理解のためには理論的知識や推論プロセスが必要と論じるが、「理論」や「推論」の捉え方にはある程度の柔軟性がある。それゆえ、ギャラガーの議論と整合的なかたちで理論説が措定する理論的推論を捉えられるかもしれない。ギャラガー的描像によって排除されないような理論観の例を提示し、こうした方向性の応答が一定の妥当性をもつことを示す。

主要な文献

- Carruthers, P. (2015). Perceiving mental states. *Consciousness and Cognition*, 36, 498–507.
- Gallagher, S. (2008). Direct perception in the intersubjective context. *Consciousness and Cognition*, 17(2), 535–543.
- Gallagher, S. (2015). The new hybrids: Continuing debates on social perception. *Consciousness and Cognition*, 36, 452–465.
- Gallagher, S. (2017). *Enactivist interventions: Rethinking the mind*. Oxford University Press.
- Gallagher, S. (2020). *Action and interaction*. Oxford University Press.
- Lavelle, J. S. (2012). Theory-theory and the direct perception of mental states. *Review of Philosophy and Psychology*, 3(2), 213–230.